



「大清水まつり」

とき 7月30日(土)午後4時~9時
31日(日)午後2時~9時
ところ 大清水広場(本町1丁目)
内容 模擬店、子ども縁日、ゴスペルソング、日舞踊り、星空シアターマジックショー、笹舟競争、長柄行列、邦楽、ゆかたコンテスト、盆踊り、灯籠流し、ダックレース
問 大清水まつり実行委員会
辰巳 聖峯(88-1168)
栄 喜一郎(88-0858)

安らぎと潤いの「大清水」

市と地域住民が協働で整備を進めている大清水広場とその周辺の工事が、7月中旬の完成をめざして順調に進んでいます。
これまで6回にわたる会議で、地域のみなさんから出された多くの意見が、いま現実のものになるうとしています。
地元では、この完成を祝して、例年にも増して盛大な「大清水まつり」を開催する予定です。お祭りといっしょに、完成した大清水広場と、こんなと湧き出る清水の様子をぜひご覧ください。



完成間近の大清水広場

懐かしさに顔ほころぶ 「東京勝高会」総会が開催されました

6月18日、勝山高等学校出身者で組織される「東京勝高会」の総会が、都内霞ヶ関ビルを会場に開催されました。首都圏には、2,000名を超す勝山高等学校の出身者がいるそうです。この日は約7年ぶりの開催となりましたが、勝山市、福井県内、関西からの応援参加もあり、200名を超す盛会となりました。

会場では、数十年ぶりの再開を喜び合う場面があちこちで見られ、出席者は懐かしい昔話や近況報告に花を咲かせていました。

また場内に設けられた『勝山コーナー』では、「サトイモの煮物」や「ミズナのおしたし」、「地酒」など、地元の味が並べられ、参加者らは懐かしい味を楽しんでいました。

当日の様子は、勝山高校ホームページをご覧ください。<http://www.fki-katsuyama-h.ed.jp>



会場は、懐かしい顔が集まりゲームなどで盛り上がりました



歌を通じて心の交流が深まります

ゴスペルソングで交流

「かつやまゴスペル合唱団」主催による「げんでんふれあいJUNEコンサート」が、6月12日、ふれあい交流館のロビーを会場に開かれました。

今年で3回目となるこのコンサートは、毎回趣向を凝らして行われており、今回は同合唱団に加え、大野市在住のバイオリン奏者、松谷由美さんとファゴット奏者、羽生尚代さんがグループを組む「kiitos(キートス)」と、勝山子どもの村中学校の生徒らも参加したコンサートとなりました。

合唱は、同中学校2年生の深沢理恵さんがソロを務める「oh,happy day」など数曲が披露され、友人同士や家族で訪れた来場者は、涼しげなゴスペルソングで初夏のひとときを満喫していました。

恐竜王国勝山 恐竜探検フェスティバル

—あなたも恐竜博士になれる—



レインボーハウス・体験ハウス

- 思い出の恐竜エキスポ 写真展(常設)
2000年恐竜エキスポ開催時の写真や新聞記事を展示しています。
- 恐竜映画会
「未来から来た恐竜」(約15分)
上映時間帯 午前10時~午後3時
とき 7月17日(日)~31日(日)

2000年に華々しく開催された「恐竜エキスポふくい2000」から、5年が経ちました。
市では、これを節目に「恐竜王国勝山」をさらに情報発信し、長尾山総合公園がこれからもますます楽しい市民の憩いの場になるよう記念イベントを行います。
ご家族、ご友人おそろいでぜひお越しください。



どきどき恐竜発掘ランド

- 恐竜化石発掘体験
とき 7月17日(日)・18日(祝)・23日(土)・24日(日)・30日(土)・31日(日)
時間 午前11時~12時(受付:10時)
午後1時30分~2時30分(事前予約)
午後3時~4時(受付:午後2時)
定員 各回80名(持ち物:軍手・化石持ち帰り用袋)
対象 4歳~中学生 料金 1人300円
当日、発掘体験の様子を撮影したデジタル写真をプリントし、進呈します。

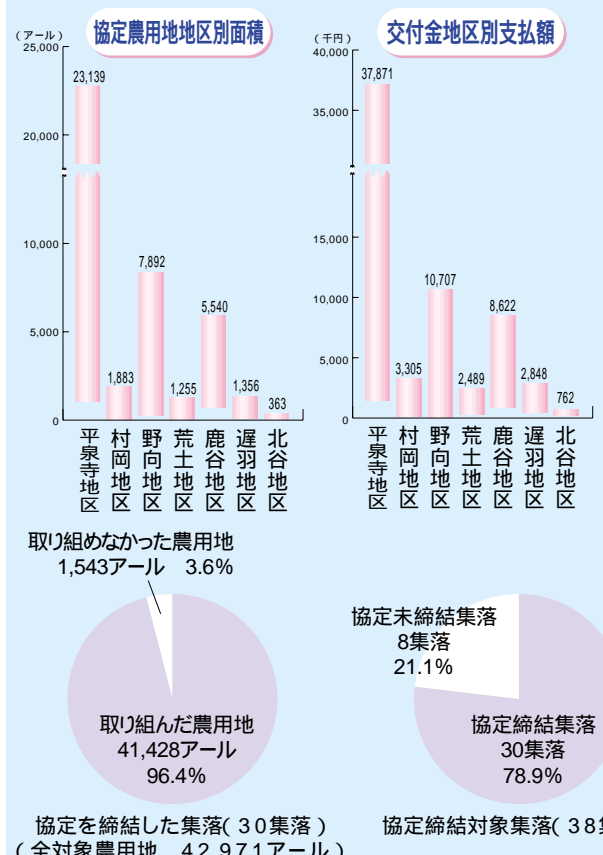
● 恐竜教室
(恐竜化石発掘体験と同日開催)
発掘体験を行う前に恐竜や化石に関するお話が聞けます。
みんなも、恐竜博士をめざそう!
時間 午前9時30分~10時30分
定員 20名(要予約)

チャマゴンランド(管理棟)

- 恐竜チャレンジコーナー
「恐竜大声大会」、「恐竜クイズ大会」
とき 7月23日(土)、24日(日)
午前10時~10時30分
午後1時~1時30分
参加賞あり
- 恐竜研究発表展(常設)
勝山恐竜研究会による研究成果を展示しています。
- クイズウォーキング
とき 7月17日(日)~31日(日)
午前8時30分~午後4時
クイズに答えながらウォーキング(約30分)
参加特典付

申・問 長尾山総合公園管理棟
88-8777

平成16年度中山間地域等直接支払事業 30集落に6660万4千円を交付



中山間地域等は、下流域の住民をはじめとした国民の生命・財産を守るという防波堤あるいは地域の里山ともいえる役割を果たしています。しかし、当市の中山間地域等においては、高齢化が急速に進み、農用地の維持管理や多面的機能の低下が懸念されています。
このため本市では、国・県の助成を受けて、一定の要件を満たす集落を対象に、中山間地域等直接支払制度による農業生産活動の支援を行っています。平成16年度においても、集落協定を締結し、適切な農業生産活動や多面的機能の維持・増進を図るため、自立した継続的な農業生産活動等の体制整備に向けた前向きな取り組み等を推進できるように新制度が導入されました。
また、平成17年度から5年間にわたり中山間地域等における多面的機能の維持・増進を一層図るため、協定を締結した集落(30集落)に6660万4千円を交付し、中山間地域等直接支払交付金6660万4千円を交付しました。

問 農林政策課(内線282)